

SS 探究ⅡC

課題発見セミナー

12月13日（金）、山口大学 大学研究推進機構 知的財産センターの 陳内秀樹先生をお招きし、2年家政科を対象に「課題発見セミナー」を開催しました。

セミナーは、3年次に生徒達が取り組む課題研究テーマのヒントや研究の手法、発見、知的財産についての概念や活用の方法等を目的として、講義と演習に取り組みました。

講義では、自然物以外の人工物は、そのほとんどが知的財産（知財）であり、技術など形ではないものにも価値があるという説明から始まり、「天ぷら」をあげる動画で、生徒に「泡」の正体が水（水蒸気）であることや、油で揚げることが、「水分を取り除く＝乾燥」のヒントになり、「即席麺」の開発に繋がったことなど、身近な現象が新製品や新技術の開発のキギになったことの話から、知的財産を生み出すためには、日頃の心構えが大事であり、「気がつく」ためには、その意識が大切であることの説明がありました。日頃より問いを立てる訓練として「なんでかな？」と思うことから始めようと1つの絵画を提示され、なぜ天使の翼は白ではなく黒で描かれているのか？頭の円盤は何？など意識して見ることで疑問が湧いてきました。

そして、他校の課題研究の例から、「私たちも！」と思う生徒達も多かったです。今ある課題を解決しようとするのではなく、20年後の未来にどう生かすかを考えるといいそうです。これからは、自分で新しい仕事を創っていく時代の到来です。さあ、私たちも課題研究がはじまります。

